

## 議案第1号 直行坂東号の中間評価と令和8年度の運行について

### <議案要旨>

直行坂東号については、令和8年度も現在の運行を継続する。

### 1 直行坂東号の概要・経過

- ・東京方面への交通利便性向上による転出抑制及び定住促進を図ることを目的に、守谷駅と本市を結ぶ通勤・通学者向けの直行型路線バスとして、平成28年3月から運行を開始した。
- ・運行内容としては、(株)関東鉄道が運行する既存の路線バスが運行しない時間帯を補う形で、平日の朝1便（岩井BT→守谷駅）と夜2便（守谷駅→岩井BT）を、速達性の高い直行型の経路で運行している。
- ・次年度の運行については、本会議において中間評価を行い協議することとしている。

※目標値 ⇒ 1便あたり平均利用者数3人以上

### 2 利用状況

#### 1便あたりの平均利用者数

目標値		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 (4~9月)
3.0人以上	⇒	2.4人	1.2人	1.6人	3.2人	3.9人	4.2人	3.6人
(内訳) 6:45 岩井BT発		3.8人	2.2人	2.5人	5.4人	7.3人	8.0人	5.7人
19:00 守谷駅発		1.2人	0.9人	1.2人	2.7人	2.7人	2.8人	3.0人
20:45 守谷駅発		2.1人	1.0人	1.0人	1.4人	1.5人	1.9人	2.0人

※詳細は裏面のとおり

### 3 中間評価

- ・令和7年度（4~9月）における1便あたりの平均利用者数は3.6人で、目標値の3.0人を上回っている。
- ・令和6年度の全体利用者数は、過去最高の数値となったが、令和7年度は減少傾向にある。便別の内訳を見ると、特に朝の便（岩井BT→守谷駅）の利用が減っており、夜の便（守谷駅→岩井BT）は微増している。

### 4 令和8年度の運行について

令和8年度も現在の運行を継続する。

## ≪直行坂東号の利用状況≫

